

## ちゅうりっぷ組だより<8月号>

令和5年 8月20日 ことり保育園

担当：野口

暑い日は続いていますが、少しずつ多目的保育室の下で水遊びを楽しめるようになり、皆、自分から水に手を入れようと身を乗り出すようにし、遊ぶのに夢中です。

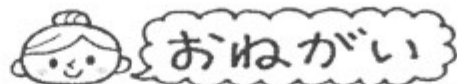
さて、最近では手や指先を使った遊びに興味があるようです。保育者が蓋に穴を開けた缶やケースを用意すると丸や四角・三角のパーツを入れて“ポトン！”と音が鳴るのを喜んだり、段ボールを加工して作ったコロリンボール（上部の穴にカラーボールを入れると、内側の斜面を転がって出て来る玩具）も好きで、皆で次々にボールを入れようとやる気満々です。

転がるボールを目で追い、「ん！（取って！）」と指差し。

“あらら、拾うのは保育者の仕事？”と笑いながら、“やりたい！”の思いを叶えるお手伝いをしています。

他にも、ポップチューブ（蛇腹になっているホース状の玩具）を曲げたり、縮めたり、伸ばしたりして、形の変化や“ポコポコ”という不思議な音を楽しんでいます。初めは、その音に驚いて目を丸くしていた子も、お友だちや保育者が遊ぶ姿に惹かれ、自分から握って遊べるようになってきました。

これからも、子ども達がいろいろな遊びに興味を持ち、好奇心いっぱい園生活を過ごせるよう工夫していきたいです。



### おねがい

毎週月曜日には、爪検査があります。爪が伸びていると、自分やお友だちを傷つけてしまうこともあります。子どもの小さい爪を切るのは大変だと思いますが、こまめに確認していただくと幸いです。

